基本目標２　支え合う地域を創る「つながりづくり」

活動目標②　[　地域の人や団体、関係機関とつながろう　]

地域福祉計画
関連項目
基本施策１－２

■現状と課題

地域においては、住民同士や団体、事業者等による様々な活動や取組が行われていますが、お互いの活動の共有や連携が十分に進んでいないのが実情です。

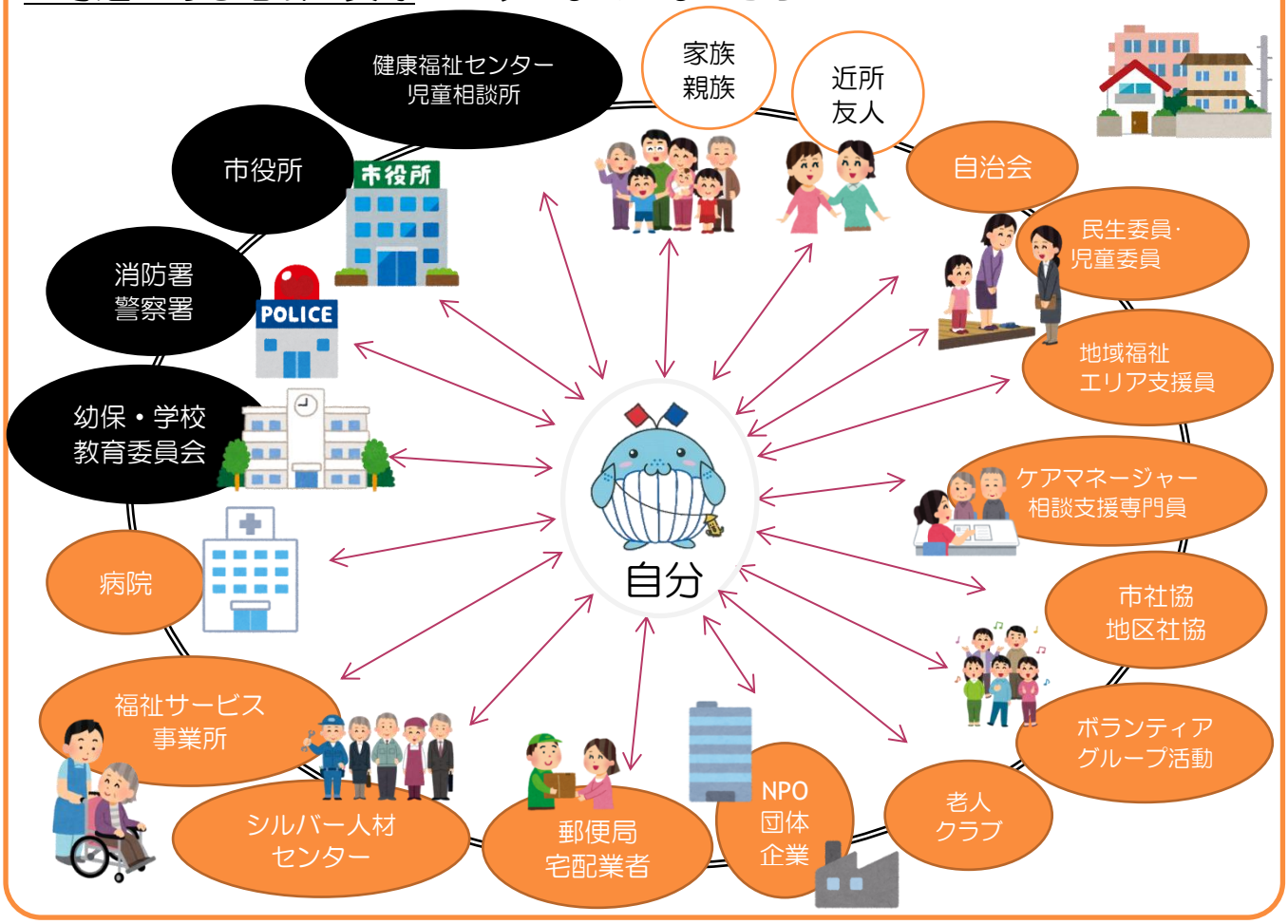
地域の福祉課題解決のためには、地域住民、福祉施設、企業、NPO 法人、学校等地域に関わる多様な団体や関係機関が連携して活動に取り組むことが必要です。また、市内７地区にある地区社会福祉協議会や地域福祉エリア支援員と共に、地域に根差した活動を進めることが大切です。併せて、新しいつながりをつくり、別の視点から地域づくりを考えることも課題です。

■具体的な取組

	取組内容	取組チェック表		
		Ｒ４年	Ｒ６年	Ｒ８年
一人一人が取り組むこと	●普段からあいさつを心がけ、顔が見える関係を築きましょう。			
	●自分の住む地域の活動に参加しましょう。			
	●市や社協の福祉講座や交流会等に積極的に参加しましょう。			
地域みんなで取り組むこと	●一人暮らし高齢者や障害がある人など、地域で支援が必要な人への声かけや見守りを行いましょう。			
	●自治会や民生委員・児童委員、福祉員等で地域内の情報や課題を共有しましょう。			
	●自治会で地域の課題について話し合う場を作りましょう。			
	●行事等の主催者は活動の啓発を行い、参加を促しましょう。			
	●地域の新たな担い手、リーダー発掘に努めましょう。			
社協が取り組むこと	●ネットワーク活動についての啓発を図ります。			
	●様々な機会を活用して民生委員・児童委員、福祉員と連携を強化します。			
	●地域の組織、団体の活動を把握します。			
	●多様な団体、関係機関と積極的に連携をとります。			

	●地域福祉課題に取り組む自治会や団体の活動を支援します。			
	●自治会福祉部の設置及び活動を支援します。			
	●市内７地区の地区社協の活動を支援し、情報交換の場を設けます。			
	●住民からの相談に対し、必要に応じて専門機関と連携をとりながら、適切な支援を行います。			
	●長門市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の地域貢献活動が充実するよう支援します。			

■５年後の姿

●地域でお互いに見守り合うことができるようになっている。
●地域の課題を発見し、自分たちで解決する意識を持つ人が増えている。
●課題を抱える世帯を発見し、適切に専門機関につなげることができている。
●地域福祉関係者がお互いに連携をとることができている。

■身近にある地域の資源　～みんなでつながろう～